

# 南丹市の地域福祉に関する意識調査

## <福祉活動団体調査>

地域福祉にかかわる団体の皆様へ

日頃より福祉の推進について、温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、南丹市では、「みんなでつくる、誰もが安心して、つながりながら住み続けられるまち」の実現をめざして、福祉の総合的な取り組みを示す市の「地域福祉計画」と社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」を一体的に策定することになりました。

この度、新たな計画策定にあたりまして、福祉活動等にご活躍中の皆様の実態について把握させていただくとともに、ご意見やご提案をおうかがいするため、アンケート調査をお願いすることといたしました。

ご記入いただいた内容については、すべて統計的に処理しますので、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 28 年●月

南丹市長 佐々木稔納

### 《ご記入にあたってのお願い》

- 1 お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、( ) 内になるべく具体的にご記入ください。  
なお、答えたくない質問に対しては無理にお答えいただかなくてもかまいません。
- 2 質問によっては、回答数が限られているものがありますので、断り書きにご注意ください。
- 3 この調査票は、原則として平成28年9月1日現在の状況でお答えください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、平成28年●月●日(●)までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。(切手は不要です。)
- 5 記入にあたって、ご不明な点がある方やお困りの方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

#### 《お問い合わせ先》

南丹市 市民福祉部 社会福祉課

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町 47 番地

電 話 : 0771-68-0007 F A X : 0771-68-1166



**問4 貴グループ・団体が地域活動を行ううえで、課題となっていることは何ですか。**  
**(あてはまるものすべてに○)**

- 1. 人材の確保が難しい。
- 2. 支援を必要とする人の情報が得にくい。
- 3. 市民に情報発信する場や機会が乏しい。
- 4. 外部からの問い合わせや相談をいつでも受けられる体制がない。
- 5. メンバーが高齢化している。
- 6. 地域コミュニティが希薄化している。
- 7. メンバーが仕事などで忙しく、活動できにくい。
- 8. リーダー（後継者）が育たない。
- 9. 行政依存の意識がなかなか抜けない。
- 10. 他のグループ・団体との交流する機会が乏しい。
- 11. 活動場所（拠点）の確保が難しい。
- 12. 活動資金が乏しい。
- 13. 活動に必要な情報や専門知識が不足している。
- 14. その他（ ）
- 15. 特に困っていることはない。

意味がわかりにくくないか（要検討）

**問5 今後、地域での活動をさらに活性化させるために、どのようなことに取り組んでいきたいとお考えですか。**  
**(あてはまるものすべてに○)**

- 1. グループ・団体間の交流機会の充実と連携（イベントなど）
- 2. ボランティアグループ・団体の情報提供、広報活動（ホームページの作成、情報機器の活用など）
- 3. 人材の確保と育成
- 4. 地域の催しへの参加
- 5. 活動拠点の整備や充実
- 6. その他（ ）

**問6 今後、地域福祉を推進していくために、どのようなことが必要だとお考えですか。**  
**(あてはまるものすべてに○)**

- 1. 自治会、地域住民の理解と協力
- 2. 各種団体との連携
- 3. 学校をはじめとする教育機関との連携
- 4. 行政による公的制度や施策の充実
- 5. 担い手（人材）の育成
- 6. 専門家による相談窓口の開設
- 7. 集会所など活動拠点施設のバリアフリー化、改修整備
- 8. 災害時に備えた日常からの連携、情報共有、訓練といった仕組みづくり
- 9. 隣近所の声掛けや見守り
- 10. その他（ ）

問7 誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくためのご意見、ご提言などありましたら、ご自由に記入してください。

長時間のご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れていただき、郵便ポストにご投函ください。  
(切手は必要ありません。)